

「鉄と鋼」寄稿規程

- 1) 本会会員は、会誌「鉄と鋼」に「寄稿区分」に示す原稿を講演発表とは関係なく投稿することができる。
(連名の場合は非会員を含んでもさしつかえないが第一著者を含む半数以上が会員でなくてはならない。)
- 2) 原稿は、会誌に掲載する前に他の学協会誌およびそれに類する刊行物に発表されないものに限る。
- 3) 掲載された記事についての著作権は、日本鉄鋼協会に帰属する。著者が自分の著作物の全部または一部を他誌等へ発表あるいは転載する場合は、本会へ書面で連絡すること。
- 4) 原稿は、鉄鋼の学術ならびに技術の発展に寄与するものでなければならない。
- 5) 原稿は簡潔、正確であり内容を容易に理解できるものでなければならない。
- 6) 原稿の執筆は「執筆要領」に基づくものとする。
- 7) 原稿は正副2通に原稿申込書を添えて提出するものとし、その受理年月日は原稿が本会に到着した日とする。また副原稿は白紙に黒で明瞭に出るものであればコピーでもよい。(ただし写真はコピーではなく正原稿と同じものとする)
- 8) 原稿は編集委員会において審査し、掲載の可否を決定する。また審査の結果、修正、加筆、削除などのために原稿を返却することがある。その場合、返却日より2ヶ月を過ぎて再提出されたものについては、原則として新規投稿とみなす。
- 9) 原稿の会誌掲載にあたっては、著者校正を1回行う。この際印刷上の誤り以外の字句の訂正、挿入、削除は原則として認めない。ただし、制限ページを超えている場合は、著者校正時に制限ページ内におさまるよう短縮する。

寄 稿 区 分

原稿区分	原 稿 内 容	ペ ー ジ 制 限*	英文要旨
論 文	著者の独創になる学術および技術の成果を記述し、十分考察がなされたもの	刷り上り10ページ以内	200語以内 (和文添付)
技術報告	独創的な鉄鋼製造技術、設備技術、管理技術および材料技術や新しい測定データなどを記したもの。	刷り上り7ページ以内	200語以内 (和文添付)
寄 書	1) 著者の独創的研究成果など 2) 鉄鋼に関する学術または技術についての意見あるいは提案など 3) 会誌への注文	刷り上り3ページ以内	200語以内 でつけてもよい。 (その場合は和文添付)
誌上討論	会誌「鉄と鋼」に掲載された論文、技術報告、寄書、討論会予稿に対する修正、意見、例証、反証などを述べたもの	表、図、写真を含め所定の原稿用紙3枚以内とする	不要

* 投稿原稿のうちには、文章の冗長なもの、あるいはあまり必要でないと思われる表、図、写真が含まれているものがみられ、編集委員会で査読の結果、圧縮あるいは一部削除のために修正を願うことがしばしばあり、そのために会誌掲載がいちじるしく遅れる場合がございます。原稿執筆にあたっては、この点お含みのうえ、簡潔、明瞭にまとめられるよう特に希望いたします。

昭和55年1月1日一部改訂実施

昭和55年8月1日一部改訂実施